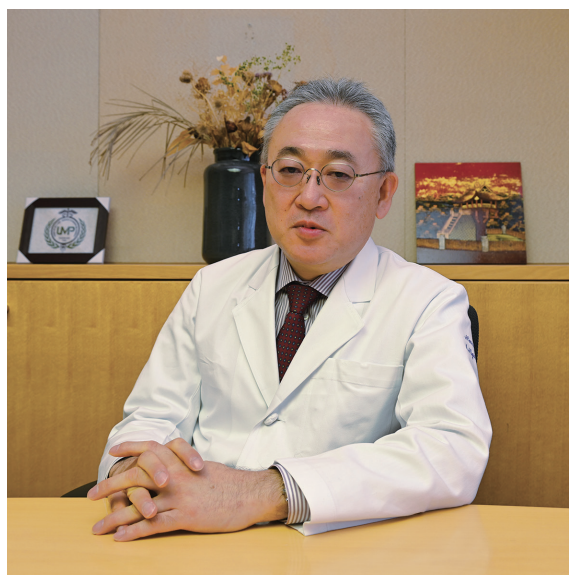


医療機関のネットワークで 八王子・南多摩地域の 医療を支えたい

東海大学医学部附属
八王子病院病院長
(脳神経内科教授)

野川 茂



当院は2002年の開院以来、地域の高度急性期医療を担いながら、常に地域で開業されているクリニックの先生方と手を携えて地域全体で患者さんを支えることを大切にしてきました。2018年からは地域医療支援病院に承認されており、2024年には紹介受診重点医療機関の認定も受けました。また八王子市と南多摩地区の二次医療圏で唯一の難病医療協力病院にも指定されています。

当院では患者さんが安心できる医療を提供するだけでなく、退院後の生活や復職支援にも力を入れています。多職種の専門スタッフが連携し、脳卒中やがんの患者さんを対象に、急性期治療から回復期病院でのリハビリテーションを経て、地域生活期にご自宅や介護施設に戻られるまでをサポートしています。このフローをしっかりと機能させるためには、地域の医療機関や施設の皆さまのご協力が欠かせません。また、支援システムはさまざまな疾患を抱えた患者さんに応用できると考えており、

さらなる充実を図ってまいります。

地域の医療機関の皆さまと意見を交わし、情報を共有する場として昨年度は、「医療連携の会」を開催しました。多くの方にご参加いただき、当院における最先端の医療情報をご提供する一方、地域で活躍されておられる先生方から忌憚のないご意見をうかがう貴重な機会となりました。今年度も開催のご案内を差し上げますので、ぜひご参加ください。

当院には、地域に向けた医療提供の拠点としてだけではなく、情報発信拠点としての役割もあります。地域医療の中では高度急性期医療を担うとともに、医療連携のコアとなる施設でなくてはなりません。さまざまな難病に関する高度な知識を必要とする病態に対する支援も、迅速に

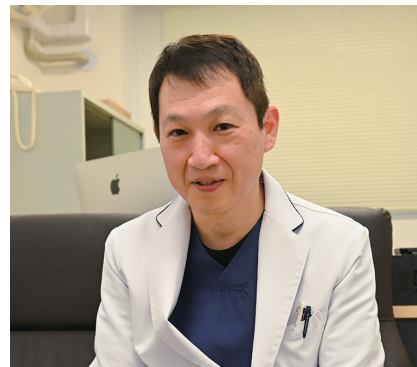
提供できる体制を目標としています。このような考えの下、各領域・部門で「八王子メディカルカンファレンス」や「八王子薬業連携の会」、看護師の方々を対象としたセミナーなど、地域の医療機関の皆さまに最新情報をお伝えし、意見を交換する機会を開いていますので、ぜひご活用いただければと思います。

八王子市を含む南多摩地区には約140万人の方々が住んでおり、今後要医療者が全国平均の1.5倍になると言われています。このような状況に対応すると同時に、地域に暮らす方々が安心・安全な医療を受けられる体制をより充実させていくためにも、地域の医療機関の皆さまと強固に連携してまいります。

患者さんご家族が 安心できる環境を

患者支援センター所長
(腎泌尿器科教授)

座光寺 秀典



患者支援センターは、地域の医療機関や施設からご紹介いただいた患者さんの受付から入院、その後のフォローアップまでを一貫してサポートする部署です。患者さんご家族の不安をできる限り取り除き、安心して診療に臨めるようにお手伝いすることを重要な役割としています。

センターには、入退院センター、医療連携室、総合相談室、がん相談支援センターの4部門があり、それぞれに所属する医師や看護師、ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師らが連携を取って、よりよい診療の実現に向けて業務にあたっています。中でも入退院センターは、入院前の指導から退院後の療養環境整備、在宅医療サービスの活用支援、その後の生活までをトータルに支援する「ペイシェント・フロー・マネジメント・システム」を構築しており、高い評価をいただいております。また「が

んサロン」を開催し、患者さんご家族ががんについて学びつつ交流できる機会を設けるなど、情報発信にも力を入れております。

こうした取り組みは、医療をめぐる時代のニーズに応えるものです。かつては医師主導の診療が一般的でしたが、インフォームドコンセントの時代を経て、現在はシェアード・デシジョン・メイキング（共同意思決定）の時代を迎えています。これは、診療方針や治療法、あるいは緩和ケア、転院先の選択など、あらゆる意思決定において、患者さんご家族、医療従事者が話し合い、患者さんの価値観や意向を尊重して治療方針を決めていくものです。患者支援センターは、まさにこの考えを具現化した部署であり、患者さんの疑問や不安に寄り添い、共に考える姿勢を大切にしています。

また今後は、これまで培ってきた知

見を土台にしながら、業務の効率化も図っていきたいと考えています。シェアード・デシジョン・メイキングは現代医療において非常に重要である一方、医療従事者の負担が大きくなる側面もあります。医療従事者が疲弊することなく、患者さんに質の高いサポートを提供できるよう、よりよいシステムを構築していきます。

当センターの理念実現には、地域の医療機関、福祉施設の皆さまとの連携が不可欠です。「医療連携の会」などの機会を通じて地域の先生方と顔の見える関係を築き、「この病院なら紹介しても安心だ」と信頼していただける病院でありたいと思っています。患者さんご家族中心の医療を実現するため、今後ともご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

地域の皆さまとの連携で 質の高い医療を提供

医療連携室室長
(患者支援センター次長・
呼吸器外科教授)

中川 知己



当院は二次救急医療機関ではありますが、一般的な疾患の患者さんをはじめ、他の医療機関では対応が難しい難治性の疾患を抱えた方々、リハビリテーションを必要とする方まで幅広い医療ニーズに対応していま

す。患者さんの通院範囲も広く、地元八王子はもちろん、東京都心部や山梨県内など幅広い地域から通っていらっしゃいます。多様な医療ニーズに対応するため、医師と看護師、コメディカルといった多職種の医療

従事者が、風通しのいい雰囲気でお互いが持つ高度な専門知識を生かした「チーム医療」を提供する体制が整っていることが当院の特徴だと考えています。

その中で、私ども医療連携室は地

域の医療機関の皆さまとの連携強化に向けた要の役割を担っています。具体的には、他の医療機関からご紹介いただいた患者さんの予約対応、回復期病院への転院などの逆紹介、本冊子「医療連携通信」の刊行などを担当しています。

地域の皆さまとスムーズに連携するためには、地域の医療機関の皆さまと「顔が見える関係」を築くことが何より大切です。その一環として、高度な医療情報を発信する拠点としての役割も担いたいと考えています。

紹介状をお持ちの初診患者さんで、朝8時から11時までに来院された方は基本的にすべて受け入れる「八王子11時ルール」を運用しています。万が一紹介をお断りする場合には、患者さんの紹介について今まで以上に理由を明確にして報告を義務付ける厳しい内部ルールも定めています。ぜひ地域の医療機関の皆さまには、当院の方針をご理解いただき、患者さんをご紹介いただくようお願い申し上げます。

また、相談しやすい環境を整備するため、電話回線の増設や受付対応の

改善などにも力を入れてまいります。

八王子市は他の地域に比べて元気な御高齢者が多いという印象を持っています。80歳以上でも手術に耐えられる方がとても多い。これは、地域の医療機関の皆さまのご尽力で実現できていることです。この素晴らしい医療環境を維持・発展させるために、今後も地域の医療機関の皆さまと密に連携し、互いの得意領域を生かして患者さんがいつでも質の高い医療を受けられる体制をつくっていきたいと考えています。

服薬情報を共有し 地域包括ケアの実現を

薬剤部 部長

丸谷 善紀



薬剤部は当院において医療の安全を支える役割を担っています。例えば、がん治療では、最新の知見に基づいた抗がん剤の投与計画策定も担い、患者さんが飲んでいる他の薬との相互作用の有無などを厳重にチェックしています。また、病院内における化学療法委員会の事務局として、提出された資料の精査や、実際の投与スケジュール作成、電子カルテへのセットオーダーの登録といった業務も担っています。これらはすべて、患者さんに安全かつエビデンスに基づいた治療を提供するためにを行っています。

また、感染対策でも薬剤師の専門性を活かして対応しています。抗菌薬の選択や投与量、投与期間について、標準的な治療の提案だけでなく、患者さんの状態に合わせた薬の血中濃度の測定、最適な投与量の提案、効果が見られない場合には他の薬剤

への変更も提案しています。

当院には、救急やがん薬物療法などの認定薬剤師が18名在籍しています。高度な専門知識を持つ薬剤師が多職種と連携して高度かつ適切な治療の安全を担保することはもとより、それぞれの知識を地域に還元して地域医療全体の質の向上にも貢献したいと考えています。地域の医療従事者の皆さまを対象にした領域別の研修会や研究会なども開き、最新の情報共有に努めています。

近年、「地域包括ケア」という考え方が重要視されています。これは、患者さんが病気になっても、病院、自宅、介護施設などを行き来しながら常に適切な医療やケアを受けられるようにするためのものです。患者さんが入院する際には、地域の調剤薬局からの服薬情報が必要となり、退院時には院内で処方した薬の情報を地域の医療機関やかかりつけの薬

局に伝えなくてはなりません。そのようなネットワークを具体化する取り組みとして、「服薬情報提供」を利用した患者さんに関する情報共有を推進していきたいと考えています。取り組み自体が始まったばかりでもあるため、診療の評価が低いのが現状です。しかし、患者さんの服薬履歴の共有は残薬問題や重複投与を防ぎ、より高度な健康管理にもつながる重要な施策です。その意義への認知を高めるためにも地域の皆さまと共に、八王子ならではのつくりたいと考えています。

地域の皆さまとの情報交換の場として、昨年度から「八王子薬薬連携の会」も再開しており参加しています。これらの機会を活用して今後も顔の見える関係を大切に、地域の薬局や医療機関の皆さまとの信頼関係を築き、公衆衛生の向上に努めたいと考えています。

Hachioji Medical Conference

日 時：6月2日（月） 19:00～20:00

会 場：八王子エルシイ4階「梅」「椿」

プログラム：

在宅診療について 橋本 典論

（東海大学医学部付属八王子病院血液腫瘍内科 講師）

リンパ腫治療について 横山 健次

（東海大学医学部付属八王子病院血液腫瘍内科 教授）

対 象：医師・看護師等医療従事者の方

参加費：無料

お申込み：右下のQRコードより、事前申し込みをお願いいたします。

[申込締切：5月26日（月）]

お問い合わせ：事務部事務課



医療連携の会

日 時：9月22日（月） 19:30～21:30

会 場：京王プラザホテル八王子

プログラム：未定

対 象：当院連携医療機関 等

参加費：無料

お申込み：招待状（7月発送予定）に同封します参加申し込みハガキをお送りください。

お問い合わせ：事務部事務課



昨年度の医療連携の会の様子

患者さんのご紹介について

外来受付時間のご案内 ※予約の方・緊急の方を除く

受付時間………8：00～11：00（診療開始は8：30）

受付時間に来院された紹介状をお持ちの初診患者さんは、ご予約の有無にかかわらず診察いたします（一部の診療科を除く）。

■ご紹介にあたってのお願い

紹介状を作成いただき、当日お持ちいただくようご案内ください。事前予約による診察も行っておりますので、ぜひご利用ください。紹介状をお持ちの場合には、WEBまたは代表番号より患者さんご自身による事前予約も受け付けております。ご紹介の患者さんにもご案内いただければ幸いです。



【医療機関からのご予約】

医療機関専用ダイヤル

042-639-1114

平日8:30～16:30

第2、4、5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115（24時間対応）

*受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

Web予約

医療機関からのWeb予約は下記QRコードより事前申し込みの上ご利用ください。

【やくばと病診連携お申し込みフォーム】

<https://media.yakubato.jp/form-for-mailing-flyer>



【患者さんからのご予約】

代表番号

0570-000-802

平日8:30～16:30

第2、4、5土曜日 8:30～14:30

Web予約（Webでの予約変更はできません）

（血液腫瘍内科、腎・透析内科、精神科、リハビリテーション科、産科を除く）

【やくばと病院予約】

https://patient.yakubato.jp/initial_appointments/fuzoku-hosp-tokai-hachioji

